

	<h1>七松小学校 学校だより</h1>	<p>令和4年度 7月号 尼崎市立七松小学校 校長 中島 賀子</p>
---	--------------------------	---

☆ ホームページアドレス <http://www.ama-net.ed.jp/school/E31/>



## こどもに寄り添った支援について



1学期最後の月、7月を迎えます。6月下旬から、真夏のような暑さが続き、もう梅雨明けしたようです。6月28日の梅雨明けは、観測史上最も早いといわれています。また、平年より21日早く、最も短い梅雨だそうです。今後の水不足も心配になってきます。そのうえ、電力需給がひっ迫しているといわれますが、学校では、エアコンを適切に使っています。しかし、暑さ指数が31度をこえる（気温ではありません）と、外で遊んだり水泳をしたりすることができなくなります。熱中症計による測定は何度も行い、こどもたちにも見えるように掲示しています。

6月6～8日に2泊3日で5年生は自然学校に行ってきました。協力し合って、絆を深められたことと思います。私が一番心に残った活動は、野外炊事でした。雨が降るあいにくの天気でしたが、うまくいかない友だちを責めるのではなく、優しく一緒に寄り添う姿を見せてもらいました。また、24日には七松カーニバルがありました。自分たちで考えたり計画を立てたりして、本番を迎えました。6年生が1年生とペアを組んで、回っていました。優しく話しかけたり1年生の話を最後まで優しく聞いてあげたりする姿を見せてもらいました。七松小学校の素晴らしい高学年の姿を見ることができました。

さて、先日、関西国際大学の教授、百瀬和夫先生の話聞く機会がありました。「こどもに寄り添った支援について」～特別支援教育の知見を生かして～という演題でした。百瀬先生は、「笑育（しょういく）」を勧めておられます。笑育とは「できる限り笑顔や微笑で明るく楽しく日々を自分らしく生きていくこと、そして、笑いを通して皆が成長していくこと、感情的になるのをコントロールして、生きていきましょう。」ということだそうです。そして、笑育の3つの基礎・基本は、①「笑顔と微笑で過ごす」②「プラス思考の言葉をかける」③「スキンシップを心がける」です。この基礎・基本を守って、子どもたちに寄り添っていければと思います。ですが、叱ってはダメなのではありません。どんな時に叱るのかのルールを明確にして、叱るとよいそうです。

7月は1学期最後の月で、まとめの時期です。学習はもちろんですが、心の成長も振り返り、子ども自身が自分の姿を知ることができるよう支援していきたいと思います。保護者・地域の皆様には、七松小学校へのご協力・ご支援に感謝いたします。今後とも、よろしく願いいたします。